空調タイムス
THE AIR-CONDITIONING TIMES
1 2 木
2020年〈令和2年〉
週刊
第2805号

日本熱源システム

代表取締役社長　**原田　克彦**

自然冷媒の省エネ性と環境性の両立は可能

当社が展開する空冷式CO_2冷媒冷凍機「スーパーグリーン」がこのほど、2019年度省エネ大賞の中小企業庁長官賞を受賞しました。一般的に自然冷媒の冷凍機の場合、省エネ性と環境性は両立しないと思われがちですが、今回の受賞では省エネ性が高く評価されました。今年は省エネと環境性の両立が可能であることを訴えていきます。

当社のCO_2冷凍機は2015年の発売以来、170台以上の導入実績があります。その全ての追跡調査で省エネを確認しており、中には年間30%以上の省エネを実現した実績もあります。その秘訣は、当社製品は高段と低段のコンプレッサーを搭載し、負荷状況に合わせて比率を制御し最適な省エネ運転を実現できることです。ここに当社が7年を掛けて培ったノウハウが活かされています。また、当社は独GEABock社が持つ高品質かつ多機種にわたるCO_2コンプレッサーの供給ルートを持っていることも強みです。

昨年はCO_2冷凍機の用途拡大に取り組みました。一つには、大型物流倉庫や大型食品工場への対応として、100ﾄﾞｱｸﾛｽ級の大型機種「F-3」を発売しました。従来よりも台数や工数を減らしトータルコストを削減できます。またプラインチラーを開発し、比較的高い温度の冷却や製氷等の用途に対応しました。『用途を選ばない』CO_2冷凍機が実現しつつあります。他方、案件としては、物流倉庫は大型化傾向にあり、機器も大型が増えています。大型食品工場のフリーザーやチルドのプロセスラインでも導入を果たしました。昨年後半以降、CO_2冷凍機を信頼してご採用頂ける会社が急増しており、この追い風を受け止めていきます。

一方で化学工場等の大型産業用冷凍機の分野では、アンモニア冷凍機「ブルーアストラム」を中心に引き合いが増えています。400~2千ﾄﾝﾄﾞｯｸまで幅広く標準機をラインアップし、漏れない安全性と、高い省エネ性が特長です。

今年からR22の国内生産が禁止される中、自然冷媒は現実的な選択肢となっています。その中で、自然冷媒の冷凍機をもって高い省エネ性と環境性の両立を、具体的な技術をもって提示することが重要と考えます。当社は今年も中型はCO_2冷凍機、大型はアンモニア冷凍機と、2軸で提案を進めていきます。その集大成として1月のENEXでCO_2冷凍機を、3月のHVAC&R JAPANではCO_2冷凍機とアンモニア冷凍機を展示します。そして12月に京都で開催されるグスタフ・ローレンツェン国際会議（自然冷媒会議）では、CO_2冷凍機の開発状況を世界中に発信する考えです。

JESCO 日本熱源システム株式会社
Nihon Netsugen Systems CO.,LTD.
本社　〒162-0845　東京都新宿区市谷本村町2-10
TEL：03-5579-8830　FAX：03-5579-8831
大阪支店・工場 / 滋賀工場 / 福岡営業所 /
東日本サービスセンター / 北海道サービスセンター

ENEX 2020
ENEX2020に出展致します。
当ブースへのご来場をお待ちしております。
ブース番号 1S-C06
2020.1.29(水)−31(金)10:00-17:00
東京ビックサイト南1・2ホール